

CBF-AML の予測における CD19, CD56, CD2 発現の有用性に関する研究

1. 研究の対象

1999年7月から2024年4月までに当センターで診断した $t(8;21)(q22;q22.1)/RUNX1::RUNX1T1$ を伴う AML38例、対象として $t(8;21)(q22;q22.1)/RUNX1::RUNX1T1$ を伴わない FAB-M2 41例、 $inv(16)(p13.1q22)/CBF\beta::MYH11$ を伴う AML20例、対象とし $inv(16)(p13.1q22)/CBF\beta::MYH11$ を伴わない FAB-M4 20例を対象とした。

2. 研究目的・方法

当センターで AML-M2 と診断した 79 例のうち $RUNX1::RUNX1T1$ AML 38 例と $RUNX1::RUNX1T1$ を伴わない non $RUNX1::RUNX1T1$ AML41 例、AML-M4 と診断した 40 例のうち $CBF\beta::MYH11$ AML20 例と $CBF\beta::MYH11$ を伴わない non $CBF\beta::MYH11$ AML 20 例を対象にマーカーの診断精度および検査特性を多変量解析のロジスティック回帰分析と ROC 曲線を用いて後方視的に検証する。

3. 研究期間

当院研究許可日～2026年12月18日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：FCM 検査データ等

5. 研究に用いる試料・情報の取得方法

検査報告書控えから4の情報を取得する。

6. 試料・情報の公開

本研究成果については論文で報告する予定。論文で発表する際は、個人が特定される情報は削除したうえで発表を行う。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等は下記の連絡先まで問い合わせること。

希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来る。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者もしくは患者の代理人の方に了承されない場合には当該試料・情報の利用を行わない（利用を停止する）ので、下記の連絡先まで申し出る事。その場合でも患者に不利益が生じることはない。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 780 番地

TEL : 048-722-1111 / FAX : 048-722-1129

埼玉県立がんセンター 検査技術部 小林一彦

研究責任者：埼玉県立がんセンター検査技術部 小林一彦

-----以上